

令和4年度
奈良県小・中・義務教育学校
教育課程研究集会 特別活動



特別活動における 「主体的・対話的で深い学び」の 実践に向けた授業改善について

令和4年8月

奈良県立教育研究所

教育支援部 指導・支援係

鶴原龍弘 隅岡寛延



子どもたちが多様な他者と協働し、自分のよさや可能性をいかしてよりよく生きていくことができるようにする



特別活動の目標

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

(1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。

【知識及び技能】

(2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

(3) 自主的、実践的な集団活動を通して見につけたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の(人間としての)生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

(※()は中学校)

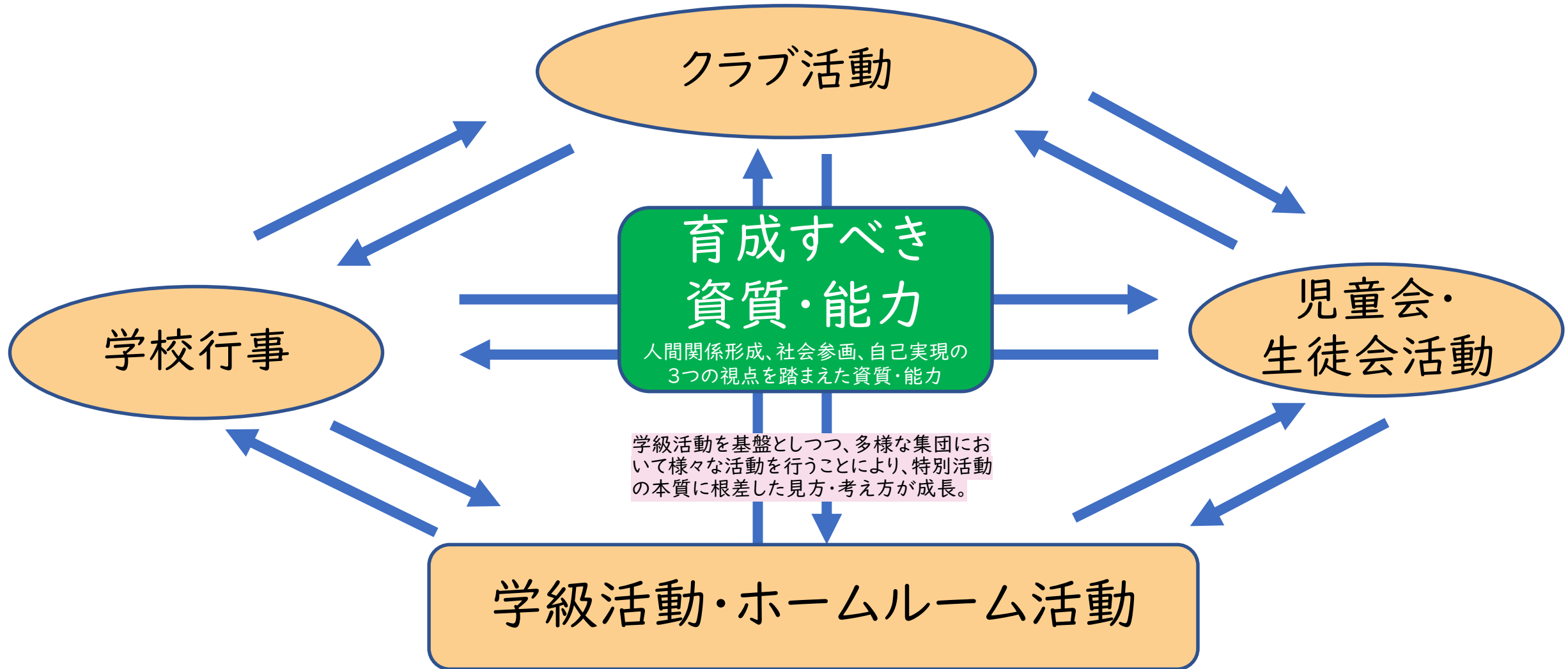
【学びに向かう力、人間性等】

特別活動で育成を目指す 資質・能力の視点

人間関係形成 社会参画 自己実現



特別活動における各活動の整理



【特別活動の基盤】


・学級・学校生活における基本的な集団における活動。

・「学級や学校づくり」、「日常の生活や学校への適応及び健康安全」について学習する中で、基板となる資質・能力を育成。



特別活動で育成を目指す資質・能力

知識や技能を教授するのではなく、各教科等において学習したことも含めて、特別活動の実践活動や体験活動を通して体得させていくようにすることが必要である。

(小学校学習指導要領解説特別活動編 p.18) 

児童生徒による自発的、自主的な活動の充実

よりよい学級や学校の生活を築くための問題を発見したり、**集団としての意見をまとめたりするなどの話し合い活動**や、**話し合いで決まったことを友達と協力して実践したりする活動**



多様な集団活動を通して、互いのよさを見付け合い、違いを尊重し合い、仲よくしたり、信頼し合ったりする関係を築く



児童生徒による自発的、自主的な活動の充実

よりよい学級や学校の生活を築くための問題を発見したり、**集団としての意見をまとめたりするなどの話し合い活動**や、**話し合いで決まったことを友達と協力して実践**したりする活動



多様な集団活動を通して、互いのよさを見付け合い、違いを尊重し合い、仲よくしたり、信頼し合ったりする関係を築く

一朝一夕には
できない

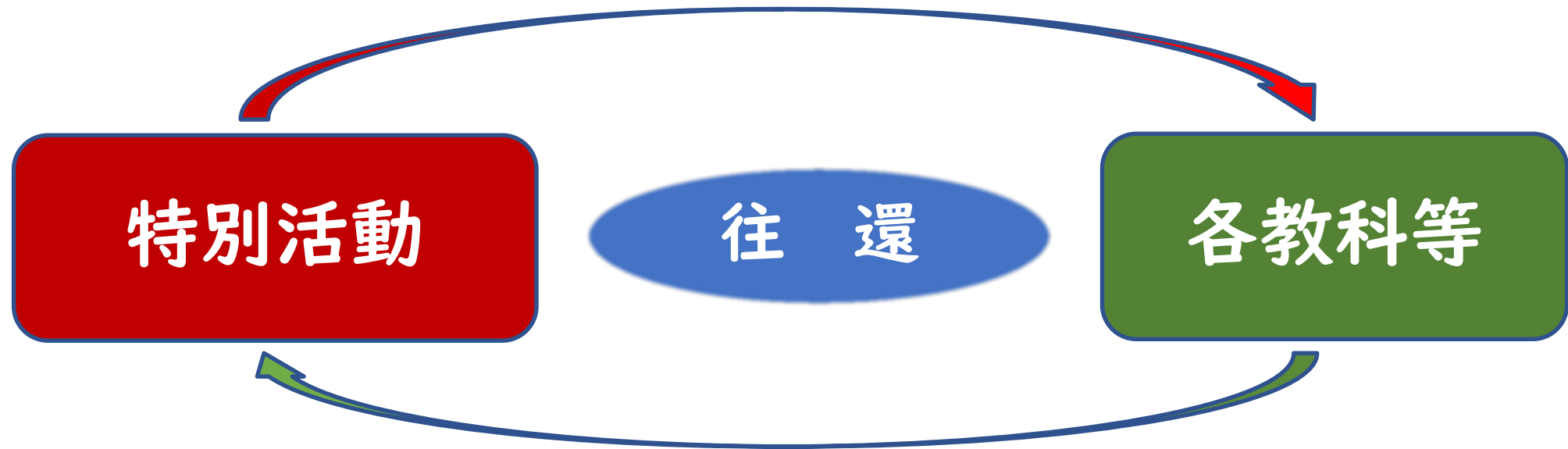
学校としての
積み重ね



特別活動と各教科の往還について

【特別活動を通じた学校生活全体の基盤づくり】

- ・学校、学級づくり(学校文化、学校文化の形成)
- ・人間関係形成能力の育成(コミュニケーションの合意形成など)
- ・社会参画や自己実現のために必要な力



【各教科等の学びを生かした特別活動の実践】

- ・各教科等で身に付けた資質・能力を特別活動の各活動の中で生かす
- ・自己の生活や進路、キャリアに学校での学びをどう生かすのかという振り返りを行う

学級活動の内容

- (1) 学級や学校における生活づくりへの参画
- (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
- (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

「キャリア形成」とは
社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくための働きかけ、その連なりや積み重ね



なりたい自分に向けて努力し、
自分らしい生き方の実現につなげる

～特別活動を要としたキャリア教育～



H28年度答申「キャリア教育の課題」

- 職場体験活動やインターンシップをすることがキャリア教育になっていないか
- 勤労観・職業観の醸成は小学校段階では尚早と考えられていないか
- 「夢をもて!」「仕事を調べる」が固定的なキャリア教育の授業になっていないか
- 「キャリア教育≒進路指導」から「進路(進学/就職)」という狭義な部分のみを捉え、従前の指導を続けているのではないか
- 学校の教育活動全体で行うとされてきたことが、逆に指導場면을曖昧にしたのではないか



「キャリア教育の要」としての役割を果たす

小（中）学校学習指導要領 第1章 総則 第4の1（3）

児童（生徒）が、**学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら**、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、**特別活動を要**としつつ各教科等の特質に応じて、**キャリア教育の充実を図ること**。（その中で、**生徒が自ら生き方を考え主体的に進路を選択することができるよう**、学校の教育活動全体を通じ、**組織的かつ計画的な進路指導を行うこと**。）（※（ ）は中学校）



キャリア・パスポート活用事例



学級活動(3)

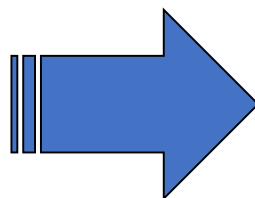
小学校生活を振り返り、中学校生活に見通しをもつと共に、新たな集団づくりを考えよう!

個人の活動

自分の長所・短所、好きな教科、苦手な教科、小学校で頑張ったことなど



記録の振り返り
(確かな自己理解)



集団の活動

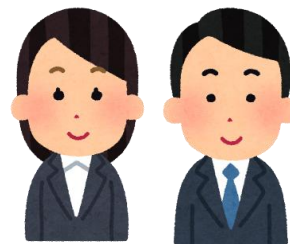
私は、英語が得意なんだ!

私は、数学が苦手なんだ!

すごいね!
尊敬するよ!

わかる!
私も同じ!

それぞれ違いがあるんだね!



見守る先生方

相互理解
(共感する雰囲気)



学級活動(3)

小学校生活を振り返り、中学校生活に見通しをもつと共に、新たな集団づくりを考えよう!

集団の活動



何でそう考えたの?

私は、人に優しくなりたい!

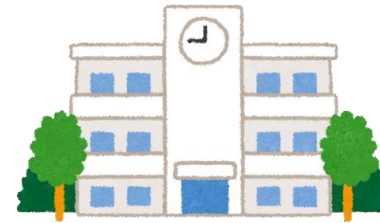
いじめのない学級にしよう!

小学校の時にいじめに遭った。自分と同じ思いをしてほしくない。

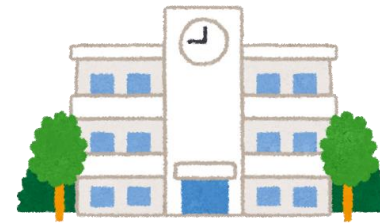
感動しちゃった。

私もいじめは絶対に嫌だ。もし困ったことがあったら言ってね。

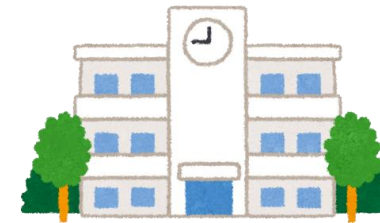
決意表明の発表



〇〇小学校



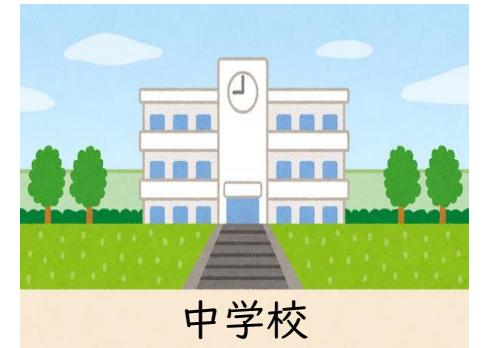
□□小学校



◎◎小学校

⋮

表紙・名前の異なる
キャリア・パスポート



中学校

資質・能力ベースで考えれば、各小学校の学びは同じである。



学級活動(3)

今までの学校生活を振り返り、今後の中学校生活に見通しをもつと共に、新たな集団づくりを考えよう!

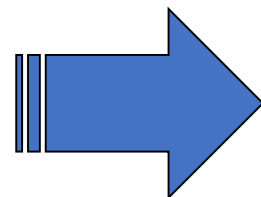
中学校3年生4月の学級活動の様子

今日は、キャリアパスポートを見て、自己紹介カードを作成し、自分をPRしよう!

キャリアパスポートには、他者評価・相互評価と自己評価があるが、他者評価と自己評価のどちらが大切かな?

他者評価は、自分では気づかないよさや可能性、課題を指摘してくれる。

自己評価は……



5年後、確実に付き合いが続いている人は誰?



5年後、確実に付き合いが続いているのは自分しかない。



そう、自分しかない。生涯という長期的な視点で成長や衰退を把握できるのは、自分しかない。だからこそ、自己評価も大切。

今までの他者評価なども参考にして自己紹介カードを作ってみよう!そして、自分のことをしっかり評価して、卒業の時には自分自身についてしっかり語れるようにしよう!



特別活動

各教科等で身に付けた資質・能力
を総合的、実践的に活用する



特別活動

各教科等で身に付けた資質・能力
を総合的、実践的に活用する

各教科等の学びをつなぐ



特別活動

各教科等で身に付けた資質・能力
を総合的、実践的に活用する

各教科等の学びをつなぐ

学校と実社会をつなぐ



特別活動

各教科等で身に付けた資質・能力
を総合的、実践的に活用する

各教科等の学びをつなぐ

学校と実社会をつなぐ

今と将来をつなぐ



令和4年度 奈良県小・中・義務教育学校 教育課程研究集会 特別活動

ご視聴ありがとうございました。

